

地方公共団体名：

周南市

○提案内容

(1) 実現したい都市のビジョン

周南市では立地適正化計画を策定しており、その居住誘導区域に既成市街地も含まれているが、子育て世代は郊外及び隣接市に居住地を求める傾向があり、子育て世代の市外への転出、また、まちの新陳代謝が進まないこともあり、既成市街地において都市のスポンジ化が進んでいる。これらの課題を解決するために、居住誘導区域内であり、既にインフラが整備済みである既成市街地に、最先端技術によるソフト事業などで利便性や先進性などの付加価値を備えたスマートシティ(タウン)を目指す。そのことで、子育て世代に居住地として選ばれ、また、将来にわたって住みやすくなり、「選ばれるまち」になることを目指す。

(2) 新技術の導入により解決したい都市の課題
※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>(ア)交通・モビリティ</p> <ul style="list-style-type: none">・主要幹線道路の交通渋滞の緩和・高齢者の移動手段の確保・バス運転手の確保 <p>(イ)エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none">・水素などコンビナートで生み出されるエネルギーの地産地消システムの構築 <p>(エ)インフラ維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">・老朽化した高層マンション・空き家、空き地の増加、不動産の流通・公共インフラの老朽化 <p>(カ)健康・医療</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者の孤独死、高齢者の見守り・健康寿命の延伸 <p>(ケ)セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none">・野犬対策・子供の見守り <p>(シ)その他(教育)</p> <ul style="list-style-type: none">・児童数の減少、余裕教室の増加・教育格差の是正・将来を見据えた先進教育による人材育成	<p>(ア)</p> <p>(イ)</p> <p>(エ)</p> <p>(カ)</p> <p>(ケ)</p> <p>(シ)</p>

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

(ア)交通・モビリティ

- ・主要幹線道路の交通渋滞の緩和 ⇒ AIによる最適な信号制御
- ・高齢者の移動手段の確保 ⇒ グリーンスローモビリティで自宅からバス停・商店街まで自動運転などで移動
- ・バス運転手の確保 ⇒ 中山間・離島地区での自動運転

(イ)エネルギー

- ・水素などコンビナートで生み出されるエネルギーの地産地消システムの構築

(エ)インフラ維持管理

- ・老朽化した高層マンション ⇒ スマートマンション
- ・空き家、空き地の増加 ⇒ データベースでのマッチングなど土地や建物の流動促進の仕組み
- ・公共インフラの老朽化 ⇒ 路面性状調査等のビッグデータ、AIによる劣化予測

(カ)健康・医療

- ・高齢者の孤独死、高齢者の見守り ⇒ ウエアラブル端末、ベッドによる健康状態の遠隔管理
- ・健康寿命の延伸 ⇒ 遠隔医療、ウェアラブル端末による遠隔管理

(ケ)セキュリティ

- ・野犬対策 ⇒ 監視システムで人との遭遇を回避
- ・子供の見守り ⇒ カメラ、GPSとスマホが連動した位置確認

(シ)その他(教育)

- ・児童数の減少、余裕教室の増加 ⇒ 学校と連携した学外教育の充実(多彩なカリキュラムのICT教育など)
- ・教育格差の是正 ⇒ ICTを活用した「個別最適化学習」の実現
- ・将来を見据えた先進教育による人材育成 ⇒ 多彩なカリキュラムのICT教育、大学、高専などと連携した先進教育の充実

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

実現したい都市のビジョンに近づくために、各分野の解決を目指し、社会実験などを通じて、市と企業、地域住民が役割分担を明確にし、効率的で効果的な事業実施に繋げ、まちの新陳代謝を促す。

(ア)交通・モビリティ

- ・主要幹線道路の交通渋滞の緩和 ⇒ バスの定時運行が可能になり公共交通の利用促進に繋がる
- ・高齢者の移動手段の確保 ⇒ 高齢者の外出機会の向上を図り、健康寿命の延伸に繋がる
- ・バス運転手の確保 ⇒ 中山間・離島地区での移動手段が確保され、健康寿命の延伸、地域コミュニティの維持に繋がる

(イ)エネルギー

- ・水素などコンビナートで生み出されるエネルギーの地産地消システムの構築

(エ)インフラ維持管理

- ・老朽化した高層マンション ⇒ 新たな付加価値により、老朽化マンションの魅力を高め、既成市街地での人口増加を図る
- ・空き家、空き地の増加 ⇒ 空き家の利用促進に繋がり、既成市街地での人口増加、都市の新陳代謝を図る
- ・公共インフラの老朽化 ⇒ メンテナンスの最適化など持続可能な都市経営に繋がる

(カ)健康・医療

- ・高齢者の孤独死、高齢者の見守り ⇒ 安心して暮らせる地域づくりに繋がる
- ・健康寿命の延伸 ⇒ 社会保障費の削減、地域コミュニティの維持に繋がる

(ケ)セキュリティ

- ・野犬対策 ⇒ 地域イメージの改善を図り、全ての人が安全・安心して暮らすことができ、既成市街地での人口増加を図る
- ・子供の見守り ⇒ 子育てしやすい環境を創出することで子育て世代の既成市街地での人口増加を図る

(シ)その他(教育)

- ・児童数の減少、余裕教室の増加 ⇒ 子育てしやすい環境を創出することで子育て世代の既成市街地での人口増加を図る
- ・教育格差の是正 ⇒ 個々にあった教育を行うなど、子育てしやすい環境を創出する
- ・将来を見据えた先進教育による人材育成 ⇒ 大学、高専などと連携し、将来のAI社会に対応できる人材を育成する

(5) その他

広域交通結節点であり様々な都市機能が集積した中心市街地、鉄道駅を中心とし地域の核となる都市・地域拠点、公営住宅、URマンション、高等教育機関、総合病院、広域スポーツ公園が集積した住宅地など、都心部地域には様々な特色を持った地域がコンパクトなエリアの中に集積されている。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
都市整備部 都市政策課	原田修司	0834-22-8427	toshi@city.shunan.lg.jp